

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクールイオンタウン川西			
○保護者評価実施期間	2025年10月15日 ~ 2025年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年10月15日 ~ 2025年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通所なので保護者様にセッション中の様子を観察室から見ていただくことができ、お子様の様子や変化が分かりやすい。	セッション後の振り返りでプログラムのねらいやお子様の反応、指導員が意識的に行った係わりなど詳しく説明を行っている。	ご家庭での声掛けの仕方や係わり方の工夫、お家でもできる遊びなどもお伝えしていく。
2	一人一人に寄り添った保護者支援を実施している。	家庭や園所での困りごとや保護者が不安に感じておられるなどを振り返りの際にお聞きし、相談に応じている。 希望があれば関係機関連携で指導員が幼稚園、こども園に訪問し、情報共有を行ったり、園所での課題をプログラムに組み込むなどの対応を行っている。	これまで通り指導員との信頼関係構築を行っていくとともに、通所されている保護者同士の横のつながりを構築し、保護者同士で悩みを共感したり、相談しあえる関係性を作っていく。
3	経験豊富な指導員がそろっており、お子さま一人一人に合わせた多彩なプログラムを提供している。	お子様の「好き」「楽しい」を追求し、そこから課題への取り組みへとつなげていく。「やってみたい」の気持ちをいかに引き出すか工夫をこらしている。楽しく遊ぶなかで様々な経験を積み上げられるように支援を行っている。	お子様一人一人について時間をかけてアセスメントを深め、カンファレンスで職員間の共通認識や支援方法の検討を行っている。常に情報収集を行い、新しい遊びや取り組みを提供できるよう研修や勉強会でブラッシュアップを行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	感覚調整遊具を天井から吊り下げることができず、フレームを設置しているため、遊具を1種類しか設置することができない。フレームにより活動範囲が制限される。	ショッピングモール内のテナントの為、必要な内装工事ができなかった。	感覚調整遊具以外にもサーキットや運動遊具などを用いて限られたスペースで楽しく体を動かすことができるよう職員間で調整を行う。 遊具を交代で使用することになるが、そこでお友達との係わりへの支援を行っている。
2	保護者同士の交流の機会がなかった	セッション中に観察室以外で保護者が集まってお話できるスペースがない。 就労されている保護者が多く、セッション以外の日に保護者だけ集まつていただく機会を設定することは難しいと考えていた。	2026年度はグループセッションの回数を増やし、その振り返りの中で保護者同士の情報交換の機会をつくれるよう検討していく。また、空いている時間を使って、ペアレントトレーニングの実施も計画しており、保護者同士の横のつながりをつくっていければと考えている。
3			